



とちょう保育園便り

2021年6月号

夏のような暑さの日があったかと思うと、4月の頃に逆戻りをしたりと安定しない気候が続いていますね。一方では、色とりどりの紫陽花が綺麗に花を咲かせていたり、雨の日に外に出てくる生き物を見つけたりと、この時期ならではの自然の楽しみもあります。

気候の変化はありますが、健康面、衛生面に気をつけながら今月も元気に過ごせるようにしていきたいと思います。

とちょう保育園

6月の予定

15(火) 身体測定 18(金) 避難訓練 25(金) 0歳児健診

安全第一

各クラスの会議で誤嚥についての話し合いをしました。

- ・「窒息事故」は0歳～3歳の小さな子に起こりやすい事故。(生後5～6か月頃から手に掴んだ物を口にする。)
- ・小さな子どもの口の大きさは直径約4cm。これより小さく子どもの口に入るものでも誤嚥や窒息の原因になる可能性がある。
- ・窒息したときの症状は？
喉を押さえる、口に指を入れる、声を出さない、呼吸が苦しそう、顔色が急に青くなる
- ・対応は？
窒息に気づいたらすぐに救急車を呼ぶ。その間にも詰まったものを吐き出させるための応急処置(背中を叩く“背部叩打法”、1歳以上児は腹部を突き上げる“ハイムリック法”)を行う。
— 政府広報オンラインより —
話し合いの中で実際に人形を相手にした、看護師による「対応の研修」も受けました。
この他に職員は皆、3年毎に普通救命の講習を受け、免許を持っています。
心肺蘇生法や誤飲の対応、AEDの使い方などを“万が一”に備えて学んでいます。

保護者会について

例年ですと6月は、クラスやお子さんの保育園での様子をお伝えしたり、お子さんたちのお家での様子を聞かせていただく保護者会を開催していましたが、緊急事態宣言が延長されている現状を見て、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、今年度の保護者会は月末に書面で開催とさせていただくことにしました。普段なかなか顔を合わすことがない保護者の方同士が参加し、関わっていただくこの会を楽しみにして下さった方もいらっしゃるかと思います。今回このような形で行う中でも、クラスの様子やお子さんたちの姿を丁寧にお伝えできるよう、担任たちとアイデアを出しあいながら準備を進めていますので、どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

今年度から入園された方は、まだ園内に入ってお子さんの園生活の様子をご覧いただけていません。本当でしたら早い段階での保育参観や個人面談が出来たらと企画をしていましたが、こちらも時期を変更させていただけたらと思います。今後の状況を見ながらまたお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。



梅雨期を快適に過ごそう！

夏に向かっていくこれからの時期、暑くて汗をかいたときには体調を見ながらシャワーや清拭(濡れタオルで汗を拭くこと)をし、子どもたちが快適に過ごせるようにしていきたいと思っています。

また、1・2歳はタライなどに少量の水を入れて触れ、ひんやりとした冷たさや感触を楽しめるような夏のあそびの経験ができたらと考えています。詳細は後日、お伝えいたします。

